

# JCN 岩手ツアー

開催趣旨：現地で活動する団体や施設、震災遺構などを訪問し、団体との対話を通じて、現地のニーズや課題を知り、  
現地との関わり方を考える機会とする。

岩手テーマ：「**3.11 の経験をつなぎここに生きること。私たちができること。**」

JCN レポートや 3.11 今がわかる会議に登場する方々に会い、彼らの現場で話を聞くのが魅力のツアー！

開催日程：2019年11月21日（木）～22日（金）

1 日目	
10:00	新花巻駅 集合
	バス移動
	大槌町 ・大槌町の様子見学 + 昼食 ・吉里吉里国訪問
	バス移動
	三陸鉄道 浪板海岸駅 15:12 発に乗車 ※台風 19 号の被害により現在釜石駅～宮古駅間が乗車できないためバス移動になる可能性あり。
	釜石市 鵜住居駅着 ・鵜住居周辺見学
	バス移動
	大槌町 ・ワーカーズコープ大槌事務所 地域共生ホーム「ねまれや」訪問
	バス移動
18:00	釜石市 ・ホテル チェックイン ・懇親会 ※懇親会ゲストあり
2 日目	
8:30	ホテル出発
	バス移動
	釜石市 ・いのちをつなぐ未来館訪問
	バス移動
	陸前高田市 ・昼食 + TSUNAMI メモリアル訪問 ・桜ライン 311 訪問
	バス移動
17:00	一関駅 解散

## 【訪問団体・視察先 おすすめポイント☆㊤】



- ① **NPO 法人吉里吉里国（きりきりこく）**：大槌町の海と山に囲まれた場所で、集落営林型自伐林業（吉里吉里の山や森をみんなで守り育てていこうという林業）に取り組んでいる団体。ひたすら無心になれる薪割り体験の後に、芳賀さんから東日本大震災後に吉里吉里の住民の皆さんがどのように復興作業に尽力してきたのか、吉里吉里国の取り組みなどについてお話しいただきます。
- ② **三陸鉄道**：東日本大震災で壊滅的な被害を受けましたが、今年 3 月 23 日に、これまでの南北リアス線と旧 JR 山田線（宮古・釜石間）が一つになり、大船渡市の盛駅から久慈市の久慈駅まで全 163km が新たにリアス線としてスタート！リアス線開通の日は、沿線で住民の皆さんが大漁旗を振って喜んでいました。今回は、浪板海岸（なみいたかいがん）→鶴住居（うのすまい）までご乗車いただきます！NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」で有名になった、あの旗振りも再現されるかも！？  
※台風 19 号被害の復旧工事状況により、乗車できない可能性があります。
- ③ **鶴住居（うのすまい）復興スタジアム**：東日本大震災の際、手に手をとって逃げて助かった鶴住居小学校・東中学校の児童、生徒たちを含めて、子どもたちの率先避難行動は、世界中に広く紹介されました。この小中学校跡地に建設された釜石鶴住居復興スタジアムは、釜石市の防災の考え方を広く発信しながら震災の記憶と防災の知恵を伝えるものです。今年開催されたラグビーワールドカップでは、9/25 フィジー対ウルグアイが行われ大いに盛り上がりました。
- ④ **NPO 法人ワーカーズコープ大槌地域福祉事業所**：震災後の大槌町の課題に向き合いながら、通所介護、学童保育、日中一時支援事業の共生ホーム「ねまれや」を 2016 年に開所。地域のサロンや子ども食堂などにも取り組んでいる団体です。子どもから高齢者まで、さらに、障がいの有無に関わらず、多様な方々が互いに支え合いながら過ごしている「施設っぽくない居場所」を見学します。そして、所長の東梅さんより、人々が集うなかで生まれる力、相互作用を大切にしているその想いも伺います。
- ⑤ **株式会社かまいし DMC 地域創生事業部/いのちをつなぐ未来館**：釜石の東日本大震災の出来事や教訓を後世に伝え、子どもを中心とする防災学習を推進することを目的に今年 3 月 23 日にオープンした施設。震災で被災した、鶴住居地区防災センター跡地に建設されました。館内には、展示室・資料閲覧室・防災学習室があり、地域住民や活動団体が交流するスペースもあります。この日は、震災当時釜石東中学校 3 年生だった菊池さんからガイドしていただきます。
- ⑥ **東日本大震災津波伝承館 いわて TSUNAMI メモリアル**：岩手県の津波伝承施設。「命を守り、海と大地と共に生きる～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～」を展示テーマに、奇跡の一本松をはじめとする周辺の震災伝承施設とともに震災の事実と教訓を伝承し、震災を乗り越えて進む姿を支援への感謝と共に発信しています。今年 9 月 22 日に開館したばかりのこの伝承施設をご覧ください。
- ⑦ **認定 NPO 法人桜ライン 311**：陸前高田市内の津波最大到達地点への桜の植樹や、災害に対する正しい知識の普及啓発に取り組んでいる団体。また津波が押し寄せた時に、自分と自分の大切な人を守るように、そして、東日本大震災の記憶を後世に伝え残すことで、自然災害によって人命が失われる悲しみを 2 度繰り返さない未来を目指して活動しています。代表理事の岡本さんから活動と地域への想いを伺います。桜の植樹地も見学できるかも！？